

協働のまちづくりに向けた「未来づくり説明懇談会」議事録（主旨要約）

| | |
|------|-------------------|
| □日 時 | 5月18日（金）午後7時～午後9時 |
| □会 場 | 白沢区民館 |
| □参加者 | 町側10人、地区側33人 |

1. あいさつ（町長）

同趣旨のため省略（英比小学校体育館参照）

2. 「住民税1%町民予算枠」制度 概要説明（政策協働課長）

わくわくアイデア事業について・わくわくコラボ事業について
制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明

《「住民税1%町民予算枠」制度に関して質疑》の主旨要約

① 審査委員は何名ですか。冊子P5の3. 補助金の交付対象となる事業で(7)はいらないのではないのでしょうか。

答) 審査委員は副町長を含めて9名です。ご指摘の(7)は、今年については該当ありませんので削除します。(政策協働課長)

② 継続事業でも毎年書類を提出しなければいけないですか。

答) 毎年度、書類を提出してください。(政策協働課長)

③ 初めての事業にしては、条件が厳しすぎませんか。

答) 町民の税金を使いますので、公正に審査します。(政策協働課長)

④ アイデアがない場合はどうするのですか。

答) そういことがないよう、このように説明会やPRをしています。
(政策協働課長)

⑤ 事業数が20件あり、最初のほうで200万円使った場合、あとの方は事業ができないので、薄く広くはできないのですか。

答) 金額で選考するのではなく、内容で審査します。(政策協働課長)

⑥ アイデアを出した人に副賞等をだしてはどうですか。

答) これから検討します。(町長)

⑦ いいアイデアなら継続して、町の事業としてはどうですか。

答) いい事業なら次年度は、町の予算で施行するようランクアップも考えています。また、予算が余った時は、次年度へ繰り越したりすることも検討します。とにかく初めての事業ですので、いろいろアイデアを出してください。(町長)

3. 参加者との懇談

《町制全般に関して意見交換》の主旨要約

①) 白沢台は市街化調整区域ですが、町政として一団の団地として形成されている市街化調整区域と市街化区域とをどのように考えていますか。(白沢台)

答) 基本的に市街化区域は主に住宅地として形成される地域で、都市計画税を徴収します。(建設経済部長)

②) 質問の意味は白沢台の公道は町で管理されていますが、下水道は自治会で管理しています。これだけの団地で自治会管理はいかなものでしょうか。(白沢台)

答) 下水道委員会にて、市街化調整区域は、原則合併処理浄化槽ですが、区域外の接続も可とする提言を受け、平成24年4月より市街化調整区域でも、負担金と下水道本管接続費用を負担すれば、接続可能になりました。白沢台も地区の全員の方の同意と、既存管の改修をしていただければ接続可能です。(建設経済部長)

③) 公共性の面で、ある程度の団地のところは、町で管理していただけないですか。(白沢台)

答) 基本的に公共下水道整備は、市街化区域と考えております。(建設経済部長)

④) 自治会で下水道管を管理するのは大変なので、公共性の面で、町に管理してもらうことはできませんか。(白沢台)

答) 白沢台という一団の集約した団地で、公共下水道に接続したいお気持ちは、よくわかりますが、汚水処理する衣浦西部区域の計画もあり、それを変更する作業や費用面もあり、急には対応できません。また、公共性もありますが、税負担からの公平性もあります。現在、市街化区域の下水道整備の事業費等の借金が、約50億円あります。人家が、ばらばらなところの市街化調整区域に投入するとなれば、もっと多くの借金になり、阿久比町の財政力では、とても耐えられません。このような状態ですので、ご理解いただき、今後の白沢台の方針をご検討ください。(町長)